



アマデウス・ソサイエティー管弦楽団

Amadeus Society Orchestra

1991年3月に慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラの卒業生を中心に“アマデウス・ソサイエティー室内管弦楽団”として設立されました。音楽を愛する気持ちが人の輪を呼び、現在は多方面からも仲間を迎え、より活発な演奏活動を行っています。設立当初は室内管弦楽団の名の通り小規模編成を主体としていましたが、団体規模の拡張に伴って「室内」の2文字を外し、現在の名称「アマデウス・ソサイエティー管弦楽団」となりました。

設立以来、原則として年2回の演奏会を行っています。選曲の幅を広げるという趣旨に基づいて「真の意味で演奏活動を楽しむ」という目標を掲げ、ホールやプログラムに応じて編成を自由に拡大縮小できるような方針で運営を行っています。発足当初は、モーツァルトやベートーヴェンの交響曲を中心に取り上げて参りましたが、第10回演奏会で、ブラームスの交響曲第1番を取り上げてから、徐々に大きな編成の曲も取り上げるようになりました。その後も編成にとらわれない柔軟な選曲で幅広い演奏活動を継続、演奏会の開催も、本公演をもって57回目となりました。

これからもアマデウスは、演奏の質を高めていくことを前提としつつ、音楽を楽しむことをよく知るメンバー相互の信頼関係で成り立つ“自然体”の楽団であり続けます。

Facebookページ <https://www.facebook.com/amadeussociety>
オフィシャルウェブサイト <http://amadeussociety.web.fc2.com/>

AMADEUS SOCIETY ORCHESTRA

57TH CONCERT
PROFILE



川本貢司 (指揮)

Koji KAWAMOTO, Conductor



正戸里佳 (ヴァイオリン)

Rika MASATO, Violin

島根県生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科を卒業。在学中に指揮法を若杉弘、小田野宏之、遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、マスタークラスにおいてヴァレリー・ゲルギエフ、セルジュ・チェリビダッケの各氏に師事。また、渡米後にミンガン大学名誉教授であるグスタフ・マイヤー氏の下で研鑽を積む。そして、生涯の師と仰ぐシャルル・デュトワ氏からは世界各地で直々に薫陶を授かり「音の魔術師」の神髄を会得する。

第10回東京国際音楽コンクール指揮部門に22歳で入賞。第59回「プラハの春」国際音楽コンクール指揮部門において第3位を獲得。

1995年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団を指揮してデビューを飾る。その後、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団等、各地のオーケストラと共演を重ねる。

2001年より活動の拠点をドイツに移し、国際的な指揮活動を展開。ドイツ・フォアポンメルン歌劇場第一専属指揮者、北東ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、ピルゼン放送交響楽団音楽監督を歴任。2021年に西安交響楽団名誉客演指揮者に就任。

これまでにスロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ放送交響楽団など東欧の名門オーケストラを筆頭に、チューリンゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ヴェルツブルク・マインフランケン歌劇場、スロヴァキア放送交響楽団、オントリオ・フィルハーモニック、クラスノヤルスク交響楽団、ウクライナ国立ドニプロペトロフスク・フィルハーモニー管弦楽団、イスタンブール国立交響楽団、スペイン・マラガ交響楽団、チリ・コンセプション交響楽団、王立バンコク交響楽団、深圳交響楽団、西安交響楽団、青島交響楽団、貴陽交響楽団など、欧州、北米、南米、ロシア、アジアの50以上のオーケストラに客演を続け、今後も定期公演に登壇することが予定されている。

広島市出身。10歳でモルドバ・フィルハーモニー（ルーマニア）と共演。2006年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位。2016年ドミニク・ペカット国際ヴァイオリンコンクール第1位および聴衆賞受賞。

広島大学附属中学校卒業。桐朋学園女子高等学校音楽科を首席卒業後、同大学ソリスト・ディプロマ特待生を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程を首席卒業後、最高課程を修了、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学修士課程アーティストコースを修了。現在はパリを拠点に国内外で演奏活動を行っている。2016年パリのサル・ガヴォーにてチャイコフスキーの協奏曲を演奏。また、サル・プレイエル（パリ）、テアトロ・カルロ・フェリーチェ（イタリア・ジェノバ）などの世界的なホールでもリサイタルを行なう。国内ではオーケストラアンサンブル金沢、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、ポーランド放送室内合奏団などと共演し好評を博す。

2018年には、デビューCD『パリのヴァイオリン・ソナタ集』（キングレコード/レコード芸術準特選盤）をリリース。JAL国際線機内オーディオや、ゴッホ展（上野の森美術館と兵庫県立美術館で開催）の音声ガイドにも使用された。また、2019年に「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全10曲 3回シリーズ」（共演：岡田将）を完遂し、大好評を得た。2021年にはNHKBSテレビ「コズミックフロント☆MUSIC」に出演。2022年春には、広島交響楽団と1週間で6公演のツアーを行い、大成功を取めた。今後ますますの活動が期待されている。

オフィシャルHP <https://rikamasato.com/>

オフィシャルFacebook <https://www.facebook.com/rika.masato.violin/>